

特集1

学習を継続できる人になるためには？

特集2

販売用教材の活用法！



2023年度受験対策が始まりました！WINでは、学習方法、モチベーション維持に関する記事のほか、改正情報や本試験のヤマなどの情報を発信しています。また、税務実務家インタビューとして、税理士の先生のインタビュー記事の掲載も予定しております。受験対策でも、それ以外でもお役に立てる情報が発信できればと思います。

今号の特集は、学習を継続できる人になるためには？、販売用教材の活用法！の2つです。学習を継続するためには、スケジュール管理が重要です。これを参考にスケジュールを立ててみてください。また、販売用教材を購入すべきか迷われている方も多くいらっしゃると思います。ご自身の学習の状況に合わせて、販売用教材を有効活用していきましょう！

1年間、よろしくお願い致します。

学習を継続できる人になるためには？

税理士試験は、年1回の試験であるため、長い期間にわたって学習を継続していかなければなりません。学習を始めたばかりの皆さんにとっては、ハードルは高くないと思われるかもしれませんが、講義が進んでいくにつれて、そのハードルは段々と上がっていきます。私も講師という立場でありながら、税理士試験の学習をしている受験生でもありますので、「学習継続」というハードルがいかに高いかということは、身をもって経験しています。

学習を継続させるためには、**学習を「習慣化」**させることが1つのポイントになります。皆さんの中にも、習慣化されている行動はあると思います。良く例えられるものとしては、歯磨き、お風呂、食事などです。掃除や洗濯も該当するかもしれません。このように「習慣化」することができれば、**本試験まで「学習を継続」**することのハードルは高いものではなくなります。

そのためには、**スケジュール管理が必要不可欠**です。スケジュール管理というのは、自分が置かれている環境を把握し、自分の行動をコントロールすることをいいます。税理士試験の受験生には色々な環境の方がいます。まず、効率良く学習をするためにも自分の置かれている学習環境を的確に把握することが大切です。手帳やノートに仕事や宿題を書き出すことがスケジュール管理ではなく、自分の行動をコントロールし、実行できる計画を立てることが大切になります。

継続して学習し、「合格」という目標を達成するために、まず、自分の置かれている学習環境を把握し、その中で実行できる計画を立てましょう。

スケジュール管理のポイント

1 タイム管理とタスク管理

勉強計画を立てる場合、2つのパターンが考えられます。それは「1日に〇〇時間勉強する」という**タイム管理**と、「1日に問題集を〇問解く」という**タスク管理**です。ここで重要なのは、この2つのパターンは、どちらが良いという訳ではなく、両方必要だということです。

勉強計画は、①学習に充てることができる時間を確保し、②その中で何をするのかという2段階で立てていきます。最初のうちは計画した学習時間と実際の学習時間にズレが生じると思いますが、上記の2つのパターンを意識することで、徐々にズレがなくなり、「〇時間のうちに〇問解く」という具体的な計画（目標）を立てることが可能になります。これにより、計画通りできないといったストレスも感じることは少なくなります。

2 余裕を持った予定を立てる

スケジュールを立てるときは、比較的モチベーションが高い状態ですので、ある意味「理想」のスケジュールを立ててしまいがちです。「理想」のスケジュールとは、学習に充てることができる時間のすべてを学習に充てるスケジュールを言います。これができることに越したことはないですが、やはり継続するには難しさもあります。

無理のないスケジュールを立てる。これがスケジュールを作る際のポイントです。具体的には**1週間に1日は「休み」を入れる**ことです（1日が厳しければ土日の21時以降など、分割しても大丈夫です。）。「休み」のない予定を作ってしまうと、1週間の中で、思ったように学習が進まないことがあった時に、「休み」にしておいた日をその勉強時間に充てることのできるからです。もちろん、本試験直前になれば、休みをなくして勉強時間に使わなければならないですが、それまでは1週間の学習の調整ができる予備日を必ず1日入れましょう。

3 状況に合わせて作成する

計算の総合問題であれば、ある程度まとまった時間に机に向かって集中することが必要となりますが、理論暗記やテキストの確認であれば、必ずしも机に向かわずとも学習は可能です。**まとまった時間が必要なものとそうでないものを区別し、状況に合わせた計画を心がけましょう。**

4 朝の時間を活用する（朝活）

早朝は学習に非常に有効な時間帯となります。夜の時間帯に比べて急な予定が入ることもないでしょうし、家族の方が起きる前から学習すれば確実に予定を消化できます。社会人や家庭を持っている方の合格者の体験談にも、早朝は、スケジュール実行のための重要な時間帯になるとあります！

早朝90分×5日間×4週間×11ヶ月＝330時間

◆「朝活」継続のコツ！

- ・目的を明確に！
- ・翌朝やるべきことを寝る前に確認！
- ・睡眠時間は確保！
- ・寝る前にTV、スマホなどは見ない！
- ・寝る前にカフェインは摂らない！

1 受験専念の方（複数科目受験）

学生や社会人の方と比べて、学習時間が確保しやすいため、スケジュールを立てなくても…と思いがちですが、それは違います。効率的な学習をするためには、具体的な計画を立てて実行することが必要不可欠です。また、**学習計画に基づいて消化しなければ、結果として勉強時間が足りなかったり、偏った科目ばかり学習することにつながります。**

複数科目を受講されている方がついつい行ってしまうのが、学習時間のある1つの科目に偏って使ってしまうことです。複数科目を同時に合格するためには、**1つの科目を1日に最低でも30分以上、コンスタントに学習することをお勧めします。**これから学習が進んで行くと、複数科目のうち成績が伸びない科目に勉強時間を充てたくなるときが来ます。1つの科目に偏って学習するのではなく、「休み」の日を成績が伸びない科目の学習に充てる、または勉強時間のバランスを少し多めに使う等の工夫をすることで、複数科目を1年で一発合格することが可能となります。**複数科目に対応したバランスの良いスケジュールを立てることを意識しましょう。**

2 学生の方

学生の方も学習時間の確保は比較的しやすいですが、学校の勉強やイベントと税理士の受験勉強とのバランスが重要です。特に、**学校のテスト期間は要注意**です。「本業は学生だから、税理士の学習は後回し」という思考になってはいけません。**必ず、税理士の学習をする時間帯を作りましょう。**

次に、長期休暇のスケジュールです。大学生の方であれば、2～3月に春休みがあると思いますが、この期間は**非常に大事な期間**となります。大学の勉強もないですから、税理士の学習に集中することができます。上記の「学習専念の方」のスケジュールの立て方を例に、バランスの良いスケジュールを立てるようにしましょう。ただし、上述したように「春休みがあるから今日の学習は後回し」という思考はやめましょう。

3 社会人の方

社会人の方は、残業など、想定していなかった予定が急遽入ることがあります。これは、急な予定が入る→学習が予定通りいかない→消化不良が起こる→点数に影響する、という負のサイクルに陥る要因の1つになる恐れがあります。学習を継続するためには、これらの要因をできる限り排除すべきですので、「**朝の時間**」を活用しましょう。

朝の時間帯は誰の邪魔も入らない「自分だけの時間」です。これをうまく活用することで、始業前に2～3時間の学習時間を確保することもできます。また、朝は脳がフレッシュな状態ですから、仕事が終わって脳が疲れている状態で学習をするよりも効率的と言えます。**夜寝る前に覚えた理論の再確認、計算問題の解答に適した時間**です。

また、社会人の方であっても、通勤時間、お昼休憩などの**スキマ時間を使って学習しない日を作らない**ことです。お忙しい方も意識次第で時間は捻出できます。睡眠時間を削ると生活リズムが崩れ悪循環になりますので、睡眠時間以外で何か削ることができないか考えましょう。例えば、スマホ・インターネット・TVを見る時間など、適度な気分転換も必要ですがこれらのことを削るだけで、かなりの時間が浮いてくるはずです。

販売用教材の活用法！

大原の税理士講座には、講義内で配付し使用するテキスト・問題集・テスト等（以下「内部教材」といいます。）のほかに、各校窓口や大原書籍サイト等で販売している教材（以下「販売用教材」といいます。）が存在します。みなさんのなかには、「販売用教材は買ったほうがいいの？」「販売用教材はどのように使えばいいの？」と、購入を迷ったり、使い方に迷っている方も少なくないのではないのでしょうか。

みなさんが受講されている大原の税理士講座は、オールインワンをコンセプトとしています。これは、最小の労力で合格するために必要なものは、**カリキュラム・講義内容・内部教材にすべて盛り込まれている**というものです。講義の受講（視聴）と内部教材であるテキスト・問題集・確認テスト等を使用した復習を徹底すれば、合格することが可能なのです。

このように書いてしまうと、「販売用教材は購入しなくても良いのでは…？」と思ってしまうかもしれませんが、そんなことはないです！販売用教材を使用することで、**より合格する可能性を高め、より確実に合格することが**できます。販売用教材は、**内部教材を使った復習をしっかりとこなしたうえで**、「学習時間にまだ余裕がある」、「より多くの演習量を確保したい」、「より多様なパターンに対応した演習をしたい」、「より高難易度の演習をしたい」、「個別項目を総復習しておきたい」などのニーズに応えるものだとお考えください。したがって、内部教材の復習ができていない状態で販売用教材に手を出しても、逆効果となります。

まず、毎回の講義の復習と内部教材の宿題消化ができていない方は、内部教材を使用して、テキストによる復習と問題集による演習を徹底することが最優先となります。テキストで答えを出すまでのプロセスを再確認し、次に問題集で実際に解答しましょう。また、確認テストも必ず解答しましょう。毎回の宿題消化が出来るようになったら、販売用教材の購入を検討してみてください。

毎回の講義の復習と内部教材の宿題消化ができているが、**応用的な問題・いつもと形式の異なった問題**になると手がとまってしまうという方は、**販売用教材を活用して応用的な問題の演習もすすめてみましょう**。いろいろな形式の問題に多く触れることで、多様なパターンに対応できる力が養えます。また演習量が増えることでスピード・正確性・読取力なども高まります。より難易度の高い問題にもチャレンジしてみましょう。

また、内部教材を繰り返し解答した結果、解答まで覚えてしまったという方も、販売用教材を使用して「本当に理解して解答できているか？」の確認をすることができます。

経験者コースの方は、去年の直前答練や本試験を受験していますので、インプットに充てる時間は昨年よりも減少すると思います。「今年こそ」確実に合格するために、販売用教材の購入を前向きにご検討ください。特に、**総合計算問題集（応用編）は、解きごたえのある問題が収録されています**。個別計算問題集とともに、演習量の確保、多様なパターンへの対応、高難易度の演習、個別項目の総復習など、用途に応じて活用しましょう。

なお、税法科目には「理論サブノート」という販売用教材があります。これは、持ち運びに便利なサイズになっているので、**税法科目を受験する方には必須のアイテムとなっています**。

ここまで販売用教材について書いてきましたが、消化不良を起こすことが一番よくありません。あくまでも内部教材を中心に考え、時期などに応じて販売用教材をうまく活用していきましょう。販売用教材は大原書籍サイト等より購入可能です。ぜひご検討ください。



O-HARA Career Staff

就職・転職活動に関する素朴な疑問

今回は、皆様からいただく就職・転職活動に関するご質問・ご相談の中で、特に多いものを取り上げてお答え致します。ぜひ参考になさってください。

Q.何から準備すればいいのでしょうか？

まずはどんな求人が出ているのか確認してみましょう。税理士業界とひとくちに言っても、募集条件は様々です。「今の自分の状況でどんなところに就職が出来るのか？」「自分が希望するところはどんな条件を満たさないといけないのか？」など、事前に知っておくことで勉強の目的意識も高まるかと思います。

また、転職の方は、次のキャリアとして「どんなスキルを身に付けたいのか？」「何を成し遂げたいのか？」と目的をある程度明確にしておくといいでしょう。そのうえで、譲れる条件／譲れない条件を考え、その条件が当てはまる求人を探していけば自分の希望する転職先が見つかりやすくなると思います。

Q.タイミングはいつがいいのでしょうか？

税理士業界は税理士試験を中心に動いていますので、8月の本試験後と12月の合格発表後が就職活動のメインとなります。

また、税理士試験の受験資格には〈学識・資格・職歴〉といった様々な分野があるため、新卒採用という概念があまりなく、卒業してからでも勉強に専念される方もいます。

Q.実務経験がないと就職・転職は出来ませんか？

どの仕事においても言えることですが、実務経験が有る方は就職・転職活動には有利にはなります。

しかしながら、就職・転職活動を行っている方が全員、経験があるわけではないので、未経験でも応募可能な求人も多くあります。

未経験者の選考基準としてはまず、知識や資格の有無です。資格は「知識の証明書」ですので、相手に知識があることを伝える一番の武器となりますし、その仕事をやりたいという意欲をアピールすることもできます。

また、お客様や同僚への対応力も必要ですので、知識や資格だけではなくコミュニケーション能力も選考のポイントとなります。今までの人生経験や他業種での仕事経験の中からアピール出来るスキルを探して伝える事が大切です。

Q.5科目すべてそろっていないとだめでしょうか？

募集は有資格者や5科目合格者だけではありません。特に税理士は1科目ずつ合格を積み重ねられるので、仕事をしながら5科目合格を目指す方が多いです。仕事の内容によっては、簿記3級程度の知識からでも応募可能なものあり、経験と資格を増やしながら、仕事のレベルも上げていくことが可能です。

就職・転職に関するご相談は

大原キャリアスタッフ

<https://www.o-hara.ac.jp/career/>

※エリアによりサービス内容が異なります。

次回のVol. 2号は11月発刊の予定となります。

WIN

ウィンVol.1
●第27巻第1号通巻224号 ●2022年9月10日発行
●発行所/大原簿記学校 〒101-0065 東京都千代田区西神田1-2-10



最新の受験情報満載！

大原の税理士メルマガ 毎月無料配信中！

メルマガ登録はこちら→<http://www.o-hara.ac.jp/goukaku>

大原 メルマガ 検索